

令和7年度

大原小学校第2回学校運営支援協議会

日時:令和7年11月28日(金)

10:20~12:00

場所:大原小学校 校長室

次 第

進行:副校長

1. 開会のことば

2. 会長挨拶

3. 校長挨拶

4. 説明及び協議

- (1)各学年の学習の様子を参観
10:30~11:15



- (2)7月~11月までの学校の様子
地域学校協働活動について

※ 資料 学校経営説明資料 学校だより「やまぶき」 学校支援会報

- (3)1学期学校評価アンケート結果

※ 資料 学校だより「やまぶき」No14

- (4)意見交流

- (5)その他



5. その他

6. 閉会のことば

大原小学校学校運営支援協議会

1 今年度の学校経営方針

本校の教育目標は、「考える子」「きたえる子」「思いやる子」を教育の柱として掲げている。この3本柱を起点に、地域との連携を深めながら、子どもたちが生き生きとした学校生活を送り、心身ともに健やかに成長できる環境を目指す。子どもたちに、将来に向けた希望を持ち続けてもらえるように、次の点を重視した教育活動を展開していく。

「笑顔と希望の学校づくり」

- (1) 確かな学力の定着と向上
基礎的な知識・技能をしっかりと身につけること、並びにそれを応用して課題を解決していく力を育成する。
- (2) 地域と共に進む教育
子どもたちがふるさとに誇りを持ち、地域社会で育つ意識を醸成する学びを提供する。
- (3) 思いやりの心を育む心の教育
自分を大切にし、友達や家族、そして地域社会への感謝と思いやりの心を育てる。
- (4) 健全な体と生活習慣の確立
健康な生活リズムの大切さを身につけるため、家庭と連携した生活指導を重視する。

2 本校の強み

- (1) 子どもたちの特性
 - ア 明るく素直で協力的な姿勢
年齢や性別、障がいの有無を超えて仲良くする意識が浸透している。
 - イ 指示をよく聞き、学習に向かう態度が形成
教師の指導に落ち着いて従い、課題に向けて努力する姿が日々見られる。
 - ウ 交通安全への注意力や、避難訓練に真剣に取り組む姿勢がある。
- (2) 地域資源の豊富さ
 - ア 地域に伝統ある組織や活動団体が多く、学校教育への支援体制が整備されている。
 - イ 地域の大人たちが子どもたちに寄り添う雰囲気がある。

3 本校の課題

- (1) 学力向上への取り組み
基礎学力の積み上げを徹底し、一人ひとりの「学び残し」を解消する必要がある。
家庭学習をより計画的に進める力を支援する必要がある。
- (2) 活動時の主体性向上
主体的に行動を起こす場面に課題がある。
- (3) 人間関係の希薄さと自己肯定感の向上
一部の児童で自己肯定感が低くなる傾向が見られる。
- (4) 情報モラルの意識向上
情報モラルを遵守する意識の向上が課題である。

4 今年度の重点取組

- (1) 確かな学力の向上
 - ア 朝学習・スマイル学習の活用
児童が基礎的・基本的な内容に触れる機会を確保し、漢字や計算力等の定着を図る。
 - イ 学び合い活動・振り返りを仕組む授業
児童が自分の考えを述べ合う機会を増やしたり、自分の学びを振り返ったりする授業を実践する。

ウ 家庭学習の充実

「スマイルプリント」の活用や「家庭学習の手引き」を配付し、計画的な学習習慣を形成できるようにする。

(2) 地域社会との連携

ア 伝統文化学習や環境保全活動を地域住民の参画で実践。郷土愛を育む教育を進める。

イ 総合的な学習の時間では、地域産業や地元の自然をテーマにした学びを実践する。

(3) 不登校対策といじめ問題への対応

ア 教職員が率先して温かい言葉かけや関わりを行い、安心できる人間関係づくりを支援する。

イ 児童同士の関わりを見守り、縦割り班遊びや活動を通じて良好な関係が築けるよう働きかける。

ウ 不登校やいじめの兆しを早期に把握し、全体で情報共有・対応を徹底する（こまめな声かけ、家庭との連絡等）。

(4) 生活習慣の改善促進

ア 「早寝・早起き・朝ごはん」の定着を家庭に働きかけ、規則的な生活習慣を形成する。

イ ルールを守り、情報モラルを遵守する意識の向上を図る。

5 全国学力状況調査（6年）・岩手県学習定着度状況調査（5年）の結果について

令和7年度に実施された調査の結果、次のような成果が得られた。

(1) ア 全校学力状況調査（6年）

国語

	全国比	県比
R 6		
R 7		

算数

	全国比	県比
R 6		
R 7		

理科

	全国比	県比
R 7		

イ 岩手県学習定着度状況調査（5年）

国語

	県比
R 6	
R 7	

算数

	県比
R 6	
R 7	

(2) 今後の方針

本校では、国語・算数の好成績を維持しつつ、理科の成績向上に向けた支援を行い、3教科全体でバランス良く学力の底上げを目指す。

ア 国語と算数の授業では、考えを共有し、学び合う活動をさらに活性化させ、思考力・表現力を一層育成する。

イ 理科の授業では、児童が日常生活や自然現象への興味を引き出せるよう、地域の自然環境や教材を活用した体験的活動を充実させる。

ウ 様々な活動を通じて、学習の振り返りや進捗確認が行えるよう、主体的に学習に取り組む習慣を支援する。

6 持続可能な目標を目指して

本校の目標は、すべての児童が今後も「学ぶ喜び」と「つながる楽しさ」を実感しながら成長できる学校を創造することである。全教職員が、この目標に向け一致団結し、地域の皆様とも手を取り合いながら、学校運営を進めていく。

7 その他

(1) 道路交通法違反防止

- ・自転車ヘルメット着用と交通ルールへの遵守徹底。
- ・令和8年4月から16歳以上に交通反則通告制度(青切符)導入予定。

(2) 「公立義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等」改正

- ・教育委員会の役割強化（業務量管理、健康確保計画の策定・公表・毎年報告、**計画は学校運営支援協議会でも確認**）。
- ・処遇改善 教職調整額の増額（R8.1から毎年1%ずつUP）。4%→10%
- ・働き方改革 時間外在校等時間の目標：平均30時間/月（R11年度目標）。
- ・部活動地域移行、支援人材確保、授業時数改善等。

(3) 学校規模の適正化

		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
大原小	児童数							

H19.11 一関市学校通学区域調整審議会答申

- ・保護者、地域住民の理解と協力を得て合意形成を図りながら進める。（優先）
※ 学級数、複式、行事等の持ち方への対応が求められる。

(4) 学校給食・行事

- ・給食費：児童生徒は据え置きの方角（大人分値上げの可能性有）。国の小学校無償化はこれから検討。

(5) 重要法令の新設・改正

「こども性暴力防止法」（2026年12月施行）

全職員（非常勤・講師、部活動指導員も含む）が対象

- ・採用・配置時、性犯罪歴の確認が必須
- ・定期的な面談、相談体制の設置、危険兆候時には児童との接触回避措置を実施
- ・情報管理（個人情報取り扱い・保管）も厳守
- ・学校マニュアルの整備や校内研修の受講